

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田小学校

【取組内容】 総合的な学習の時間～SDG s に関する調べ学習と発表活動～

15 陸上の生態系や森林を保護しよう “陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使おう” 	ゴールの説明 1 自然の生態系を守り、生物の多様性が失われないようにし、絶滅が心配されている生物を保護して絶滅を防ぐため、緊急に対策をとる。 	ゴールの説明 2 2030年までに、砂漠化に対応し、砂漠化、干ばつ、洪水の影響を受けておとろえてしまった土地と土壌を回復させ、これ以上土地をおとろえさせない世界になるよう努力する。 	ゴールの説明 3 保護しなければならない動物の密猟や、法律に反した取引をなくすために、緊急の対策をとる。法律に反する製品が求められたり、売られたりすることがないようにする。 
今起きている問題 絶滅の危機にあるゾウのきば、トラの骨、サイのツノなどが法律で禁止されているのに関わらず、高い値段で取引されています。 3年でゾウのきばのためだけに10万頭のアフリカゾウが殺されました。 	日本での取り組み 地球上に生きている生物にとって森林は欠かせないものとなっています。しかし近年、人が森林を壊すことで、すでに絶滅をしてしまった生物や絶滅の危機に瀕している生物が多くいます。 そのために、木を植えるなどの活動があります。 	自分たちに出る事 ・外来種(もともとその土地に生息していない生物)に気をつける。 ・環境保護活動を行う団体などを応援する。 ・fsc認証マークのある製品を買う。 (fsc認証マークとは、sdgs15番のゴールを目指すための取り組みです。) 	

総合的な学習の時間において、児童は17のSDGsのゴールの中から最も興味のあるゴールを選び、それについて調べて発表する活動を行いました。調査した内容をまとめる際には、児童が使いたいツールを選び、オンラインの文章作成支援ツールやスライドなどを活用しました。調べたことから伝えたいテーマを1つに絞り、1枚のカードにまとめ、文字数を少なくするなど、分かりやすさを重視してまとめました。この過程で、資料作成において相手を意識して伝えることができました。発表会では、自分の調べた内容を資料を活用して分かりやすく伝え、意欲的に取り組んでいました。